

➤第1回病院構造改革委員会でご審議いただいた、①県立病院経営対策委員会②県立粒子線医療センターのあり方検討委員会からの提言を踏まえた、第5次病院構造改革推進方策の改定案について、パブリック・コメント手続及び地域医療構想調整会議（西播磨）での説明等を実施し、ご意見を頂戴した。

●パブリック・コメント手続の概要

[実施期間]

6月16日（月）～8月8日（金）※期間を1ヶ月延長

[ご意見の状況]：

10名から**17**件のご意見を頂戴した。

①県立病院経営対策委員会関連のご意見

（危機的な状況を脱するよう、着実な収支改善策の実施を要望）

3件

②県立粒子線医療センターあり方検討委員会関連のご意見

14件

[内訳]

(1)粒子線医療センターの現地施設の廃止はやむを得ない・
今後の受療機会の確保を希望するご意見
（神戸陽子線センターの拡充・施設の新設等）

6件

(2)粒子線医療センターの廃止に反対のご意見

3件

(3)その他のご意見

（あり方検討の進め方に関するご意見等）

5件

第5次病院構造改革推進方策の改定について_①経営対策委員会関連

●経営対策委員会からの提言を踏まえた推進方策の改定

改定前

推進方策期間中の経常黒字化が困難と見込まれる病院の抜本的な経営改善方策を検討・実施する。

改定案

外部有識者からなる「県立病院経営対策委員会」で検討した、病棟の一時休止、新病院の段階的オープン、職員配置の適正化等の収支改善策を着実に実施する。

頂戴した主なご意見

- ・公立病院は赤字の病院が多いと聞くと、県立病院が「危機的な状況」と言われていることに驚いた。危機的な状況を脱するよう、着実に収支改善策を実施していただきたい。

「経営対策委員会からの提言を踏まえた推進方策の改定」に関するご意見への対応



改定案どおりの改定とし、着実に収支改善策を実施。

第5次病院構造改革推進方策の改定について_②粒子線医療Cのあり方検討委員会関連

●粒子線医療センターのあり方検討委員会からの提言を踏まえた推進方策の改定

改定前

特に、粒子線医療センターは、外部有識者含む検討会を早期に立上げ、経常赤字の解消に向けた今後のあり方を検討し、具体策に着手する。

改定案

粒子線医療センターは、「粒子線医療センターのあり方検討委員会」からの提言を踏まえ、施設の保守契約期限である令和9年度末までに現地施設での治療を停止することとし、今後、県民への粒子線治療機会を確保するための方策を検討する。

頂戴した主なご意見

- ・全国に粒子線治療が広がったのは、粒子線医療センターのおかげだと思うが、現在の場所では患者が集まらず、今後の経営が成り立たないのであれば、現在の施設を廃止する選択も、やむを得ないと思う。
- ・粒子線医療センターで治療を受けていた人が困ることがないようにお願いしたい。
- ・現在の場所で治療が継続できないか、もう一度考えていただきたい。

「粒子線医療センターのあり方委員会からの提言を踏まえた推進方策の改定」に関するご意見への対応



改定案どおりの改定とし、令和9年度末までに現地施設での治療を停止。今後県民への粒子線治療機会を確保するための方策を検討。